

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年10月8日

2002年10月6日現在：

10月に入り各地で降水があり、山岳地では降雪と成った。降水量は地区で差があるが計0.1~1.0インチであった。全州の平均農作業可能日数は5.5日と成っている。土壌水分は多少改善された。

2003年冬小麦の播種作業は、全州の90%の圃場で播種が完了し、昨年(89%)より早い5年平均(89%)と並んでいる。53%の圃場で出芽している(昨年並同期：55%、平年：65%)。出芽は昨年並びに平年より遅れている。生育状況は“Fair”が49%、“Good”が33%である。

土壌水分：

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	22	33	45	0
Subsoil (%)	59	28	13	0

小麦進捗状況：

	2002 Crop	2002 Last week	2001 Crop	5 yr. Ave.
Seeded (%)	90	71	89	90
Emerged (%)	53	27	55	66

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	2	8	49	33	8

2001年産、2002年産の作付・収穫面積は次の通りである。

	作付面積 エーカー	収穫面積 エーカー
2001年産冬小麦	2,350,000	2,000,000
2002年産冬小麦	2,350,000	1,650,000*

*2002年8月1日 USDA 予想。

昨年の作付け品種のトップはArkon(23.5%)であり、2位にPrairie Red(13.9%)が続いていた。中西部にHard White Wheatの作付けを奨励する動きがあり、HWWの作付けには条件が付くが政府補助金も出される事から、2003年産の作付け品種の動向に興味を持たれる。

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com